



世界にひとつ。あなたにひとつ。

公共交通機関乗車における キャッシュレス決済の現状と今後の展開

2025年7月30日
株式会社ジェーシービー
加盟店営業統括部
上席調査役 藤井 宏明

1. Introduction

2. タッチ決済

- ① タッチ決済とは
- ② Transitの導入状況
- ③ Transit決済概要
- ④ Transit決済スキーム
- ⑤ Transit導入のメリット
- ⑥ Transit導入の流れ

3. QR決済

1. Introduction_JCBのご紹介



世界にひとつ。あなたにひとつ。



会員残高※1

1億6,977万
会員



年間取扱高※2

50兆2,091億円



加盟店数※3

5,600万店

社名

株式会社ジェーシービー（JCB Co., Ltd.）

設立

1961年1月25日

代表取締役 兼
執行役員社長

二重 孝好

本社所在地

東京都港区南青山 5 - 1 - 2 2 青山ライズスクエア

主な子会社

株式会社ジェーシービー・サービス
株式会社ジェーシービー・インターナショナル
株式会社日本カードネットワーク
株式会社ジェイ・エム・エス
株式会社JCBイクセ

※1:弊社事業における会員残高数の合計。2025年3月末時点 ※2:2024年4月～2025年3月。弊社事業における取扱額の合計(一部推定値含む) ※3:JCB加盟店数の概算(一部推定値含む)。2025年3月末時点

1. キャッシュレス決済の概観

主要なキャッシュレス決済としてクレジット・デビット・電子マネー・コード決済がある

クレジット・デビット



電子マネー



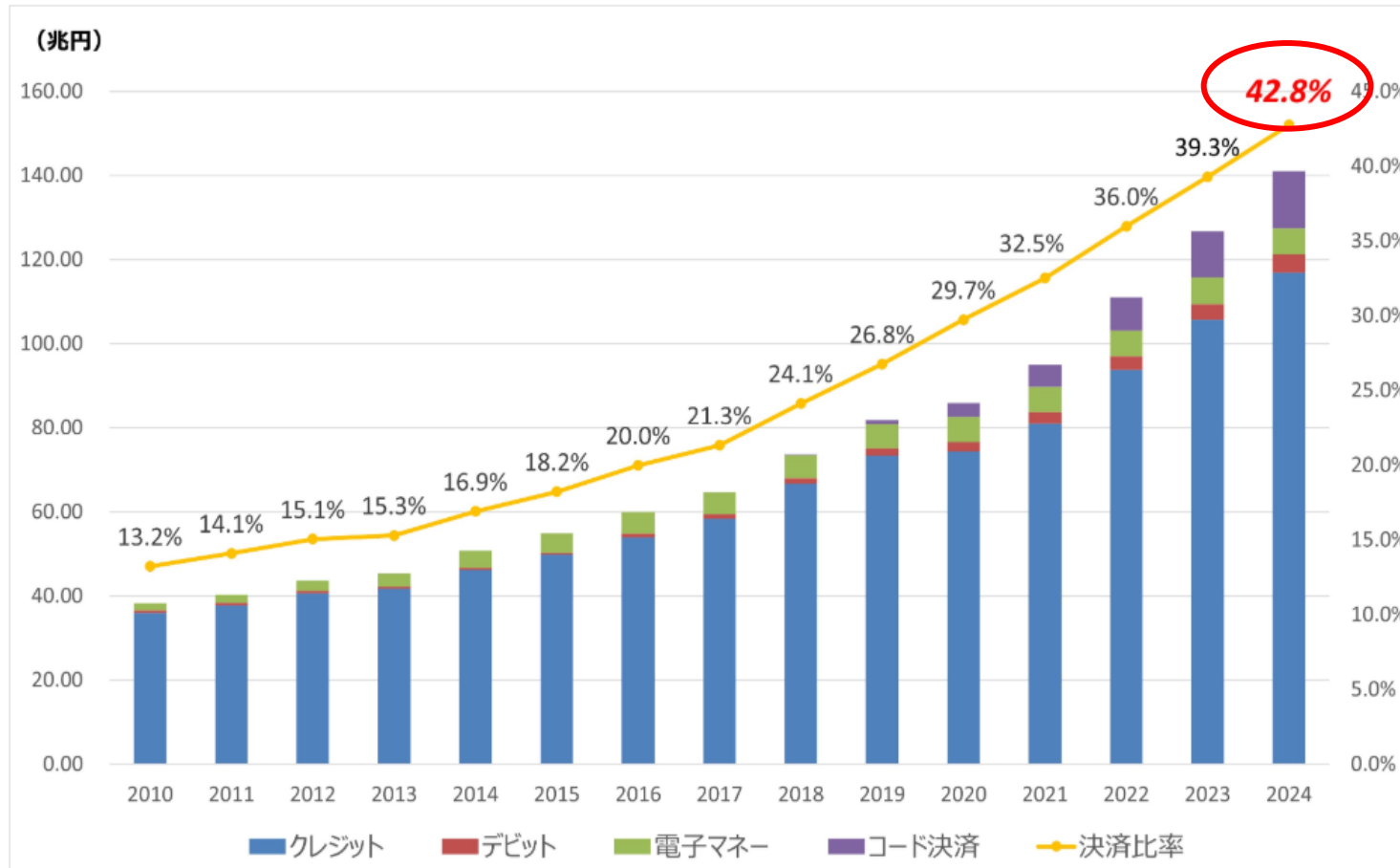
コード決済



1. キャッシュレス決済比率

キャッシュレス決済比率は年々上昇し、2024年時点で42.8%に及ぶ

日本国内におけるキャッシュレス決済額及び比率の推移



- ✓ キャッシュレス決済比率は年々上昇
→特にコロナ禍以降において顕著な伸びがみられる
- ✓ 決済手段別でみると、コード決済が近年伸長

出典：経済産業省「2024年のキャッシュレス決済比率を算出しました」

1. 本日のご説明範囲

本日はクレジット・デビット及びコード決済についてご説明する

クレジット・デビット



電子マネー



コード決済

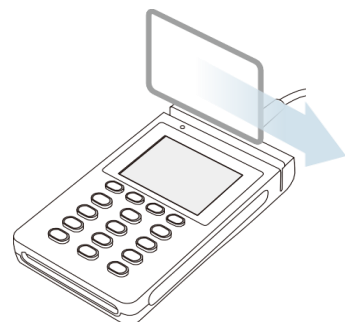


2-①. タッチ決済とは

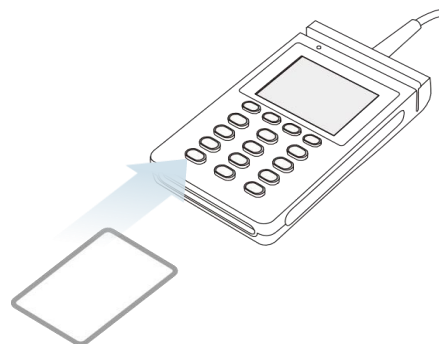
従来の「通す」「挿す」からカードをかざすだけで決済が完結

従来の決済方法

通す



挿す



タッチ決済



POINT. 1 カードをタッチするだけでお支払いが完了

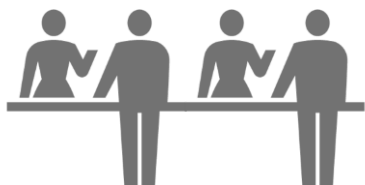
POINT. 2 スピーディーかつクリーンなお支払い方法

2-①. 交通機関におけるタッチ決済

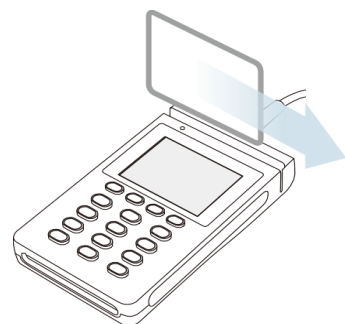
定期券購入からタッチ決済による乗降「Transit」が可能に

定期券購入

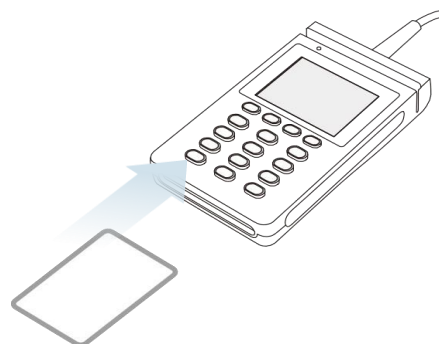
窓口での...



通す



挿す



自動改札機/運賃箱

タッチ決済による乗降
「Transit」

自動改札機



運賃箱



2-①. Transit_利用イメージ



世界にひとつ。あなたにひとつ。



2-②. Transit導入状況_グローバル①

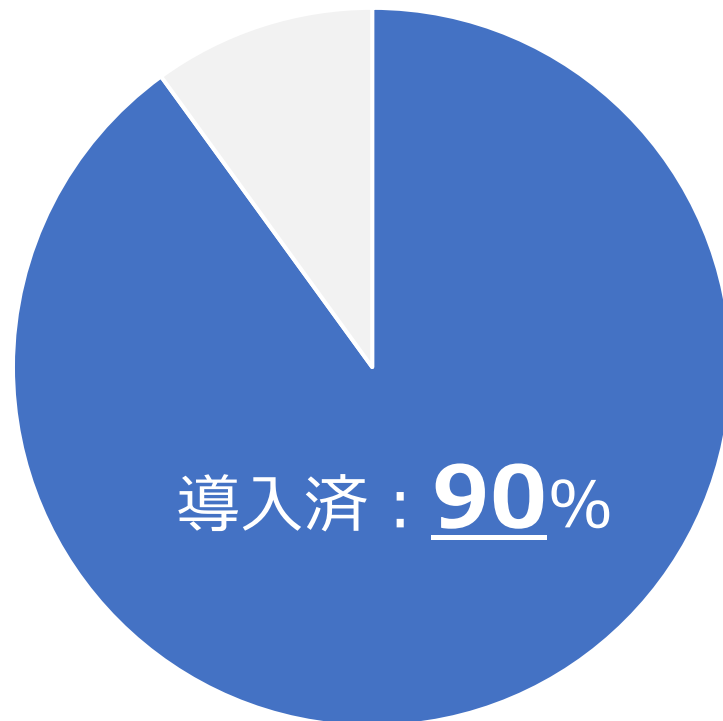
2011年にマレーシアのクアラルンプールで導入されたことを皮切りに、世界580都市以上にまで拡大



2-②. Transit導入状況_グローバル②

Transit決済は世界的には多くの地域で普及し、世界の主要都市鉄道の90%をカバー

都市鉄道の世界上位10都市におけるTransit導入率



(参考) 上位10都市の内訳及び総延長距離

1位	上海	632.1 km
2位	北京	572.0 km
3位	ロンドン	402.0 km
4位	広州	386.0 km
5位	ニューヨーク	380.0 km
6位	モスクワ	346.2 km
7位	ソウル	326.5 km
8位	東京	304.5 km
9位	マドリード	293.0 km
10位	深圳	285.9 km

※ソウルは25年度導入予定

2-②. Transit導入状況_ロンドン地下鉄

2012年にTransitを導入したロンドンでは、タッチ決済利用が交通系ICの利用を上回る



背景

✓ 高コストなOyster運用

目的

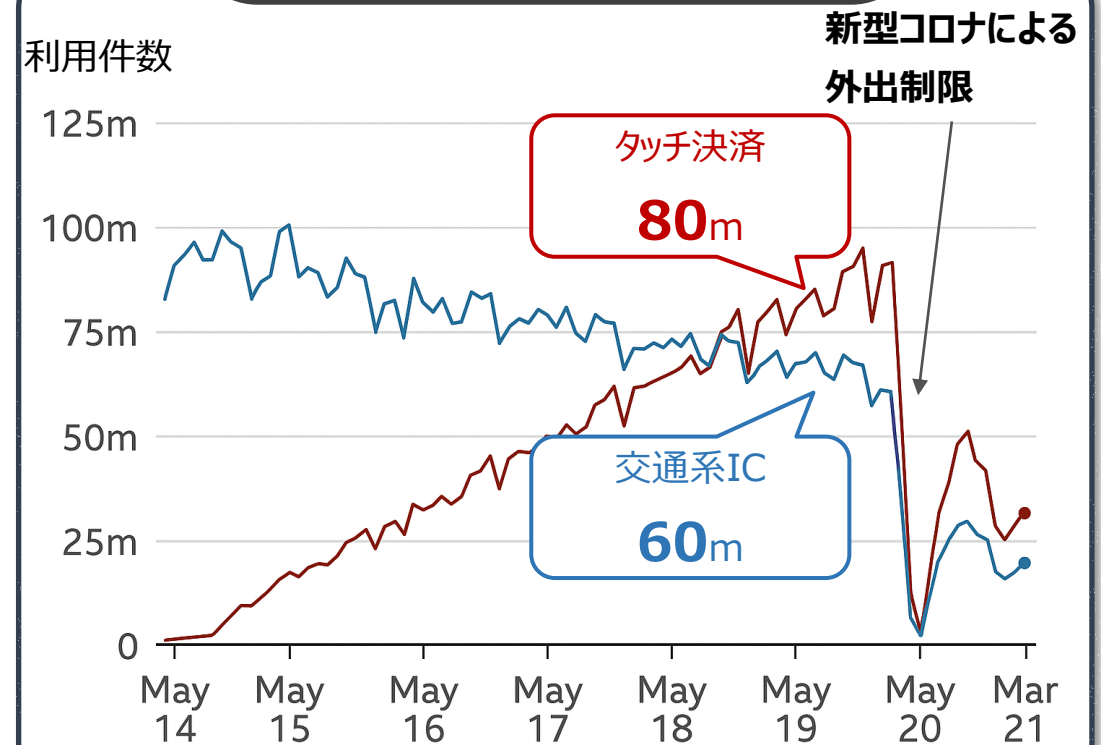
✓ コスト削減

施策

- ✓ 利用者への
経済的インセンティブ付与
- ✓ 導入にあたってのPR活動

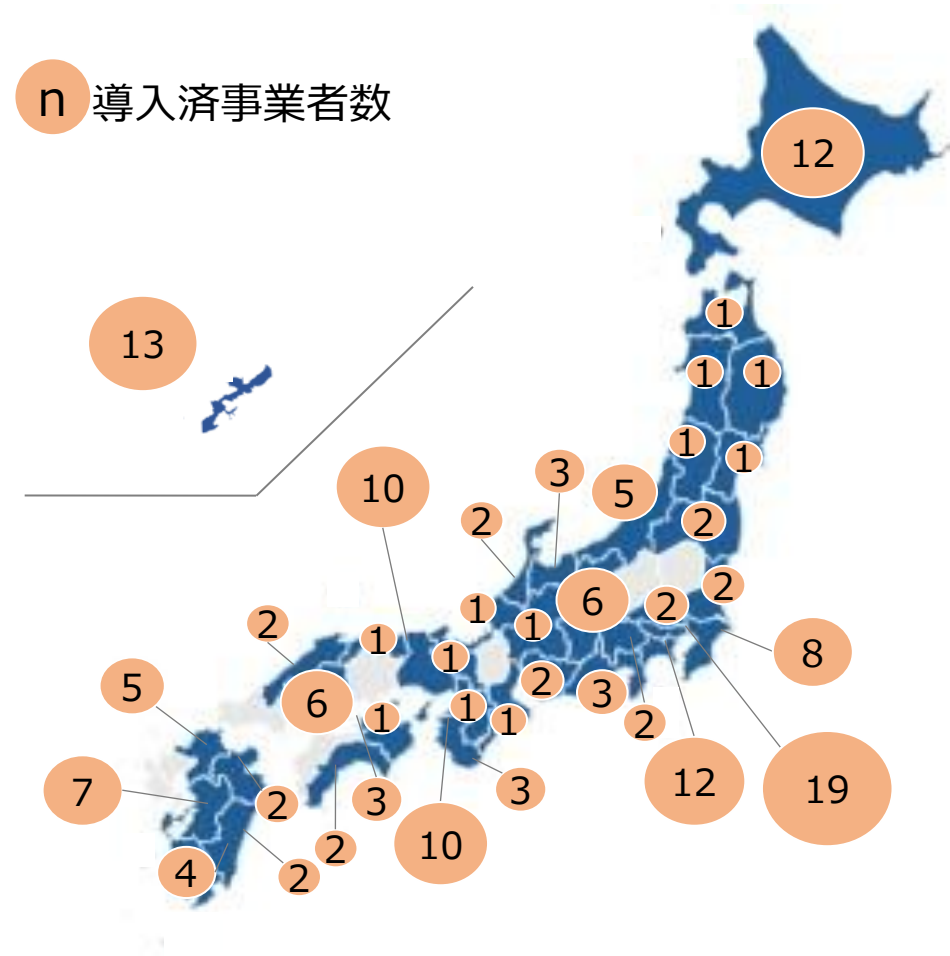
出典：BBC2021年記事

利用件数の推移



2-②. Transit導入状況_国内

2025年7月現在、**39**都道府県/**161**事業者導入済



39都道府県

161事業者 で導入済

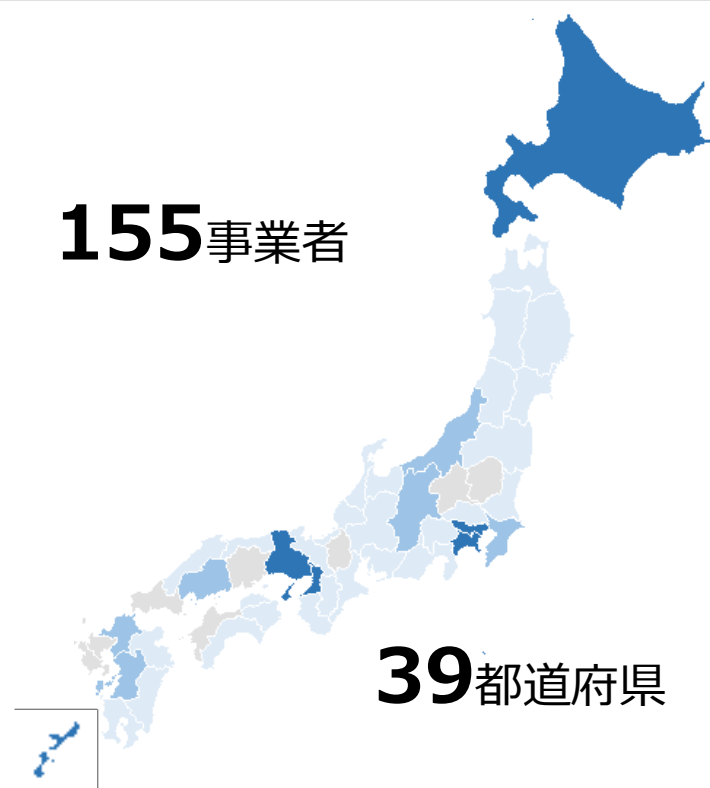
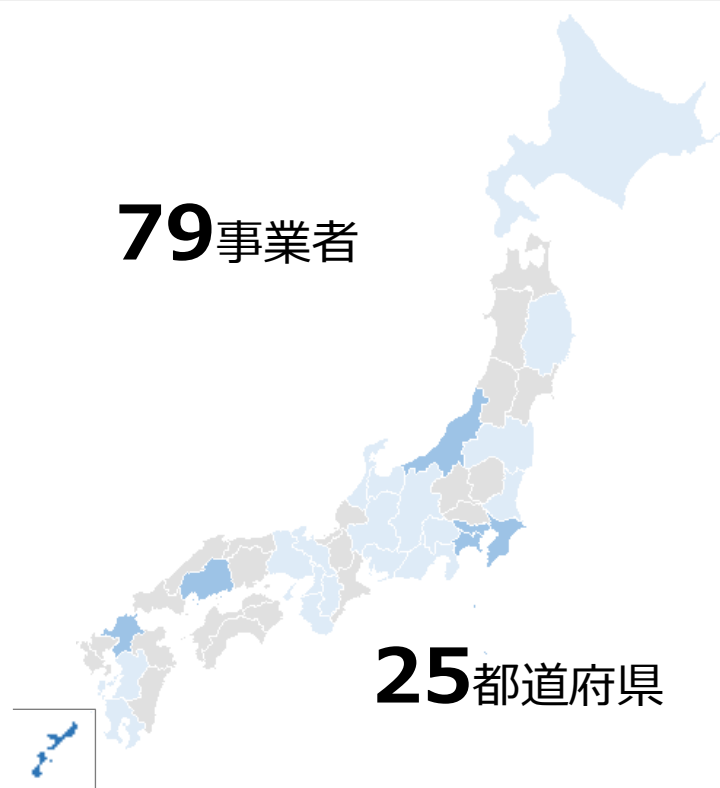
2-②. Transit導入状況_国内の広がり

2025年末には、**43**都道府県/**226**事業者まで広がる見込み

2023年度(2024年3月末)

2024年度(2025年3月末)

2025年度(2026年3月末/予定)



凡例: ■ 導入事業者数10以上 ■ 導入事業者数5以上10未満 ■ 導入事業者数1以上5未満

2-②. Transit導入状況_首都圏の広がり

2026年度春頃までに首都圏大手民鉄の**8社**がTransit導入(予定含む)



※敬称略、大手民鉄のみ記載。(出典：各社HP)

2-②. Transit導入状況_近隣自治体の動向

富士市近隣の都道府県においても**6社**がTransit導入(予定含む)

○ :導入済
○ :導入予定

TB 東海バス 東海バス



**富士急バス
富士急モビリティ**

伊豆箱根バス 伊豆箱根バス

伊豆箱根鉄道 伊豆箱根鉄道



遠州鉄道 遠州鉄道

富士急バス様ラッピングバス



※敬称略 (出典：各社HP)

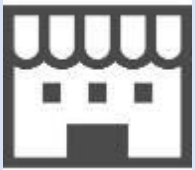
2-③. Transit決済概要

JCBのTransit決済は、交通機関取引、事前決済取引、チケット紐付け型取引の3パターンに分類される



A.交通機関取引

- 1日に利用した取引金額を日次で合算しオーソリ取得/売上計上を行う取引
 - 乗降時の決済処理にかかる時間が比較的短く、変動運賃方式である電車や路線バス等に導入されている



B.事前決済取引

- 通常の物販取引と同様で、乗車時に予め決まっている金額の決済を行い、決済完了後に乗車可能となる取引
 - 比較的運賃が高額な高速バスや空港連絡バス等に導入されている



C.チケット紐付け型取引

- 事前にECサイトで購入した1日乗り放題等の企画券や定期券をクレジットカードに紐付けることでクレジットカードで企画券や定期券が利用できる取引

2-③. Transit決済概要_A.交通機関取引

交通機関取引では、入出場時には必要なチェックのみ行い、決済は別途実施することでスムーズな乗降が可能

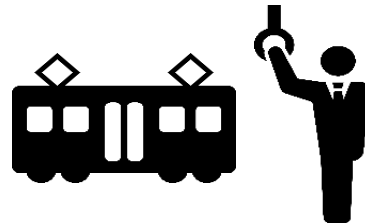
«A.交通機関取引のフロー»

【入場時】



- ・ICチップの不正
チェック 等

【乗車時】



- ・カード利用可否
判定

【出場時】



- ・ICチップの不正
チェック 等

【1日の終わり】



- ・合算金額で
オーソリ取得
- ・売上計上

2-③. Transit決済概要_B.事前決済取引

事前決済取引では、入場時のタップで、取引が確定した場合のみ、乗車可能となる

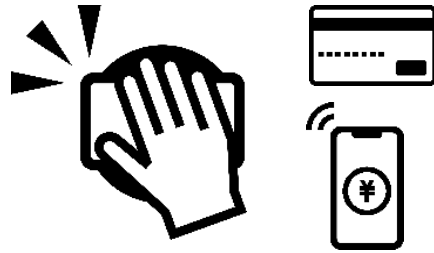
«B.事前決済取引のフロー»

【事前設定】



- 決済機器に固定金額をセット

【入場時】



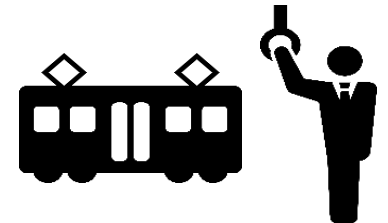
- ICチップの不正チェック
- オーソリ取得
- 売上計上

【決済処理】



- オーソリ処理
- 売上計上処理

【乗車】



- 乗車可能

A. 交通機関取引との差異

- 事前の乗車金額設定が必要
- 入場時にオーソリ取得のタイミング
→乗車オペレーションに時間を要する

2-③. Transit決済概要_C.チケット紐づけ型取引

チケット紐づけ型取引では、事前購入した企画券などを紐づけたカードでタッチすることで乗車可能

《C.チケット紐づけ型取引のフロー》

【チケット購入】



- ECサイトで企画券や定期券を事前購入

【チケット紐づけ】



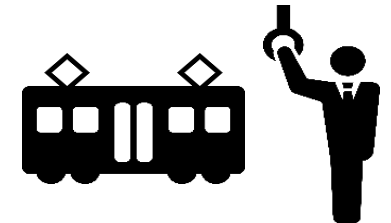
- ECサイトで購入したチケット情報とクレジットカード情報を紐づけ

【入場時】



- 紐づけたクレジットカードでタッチ

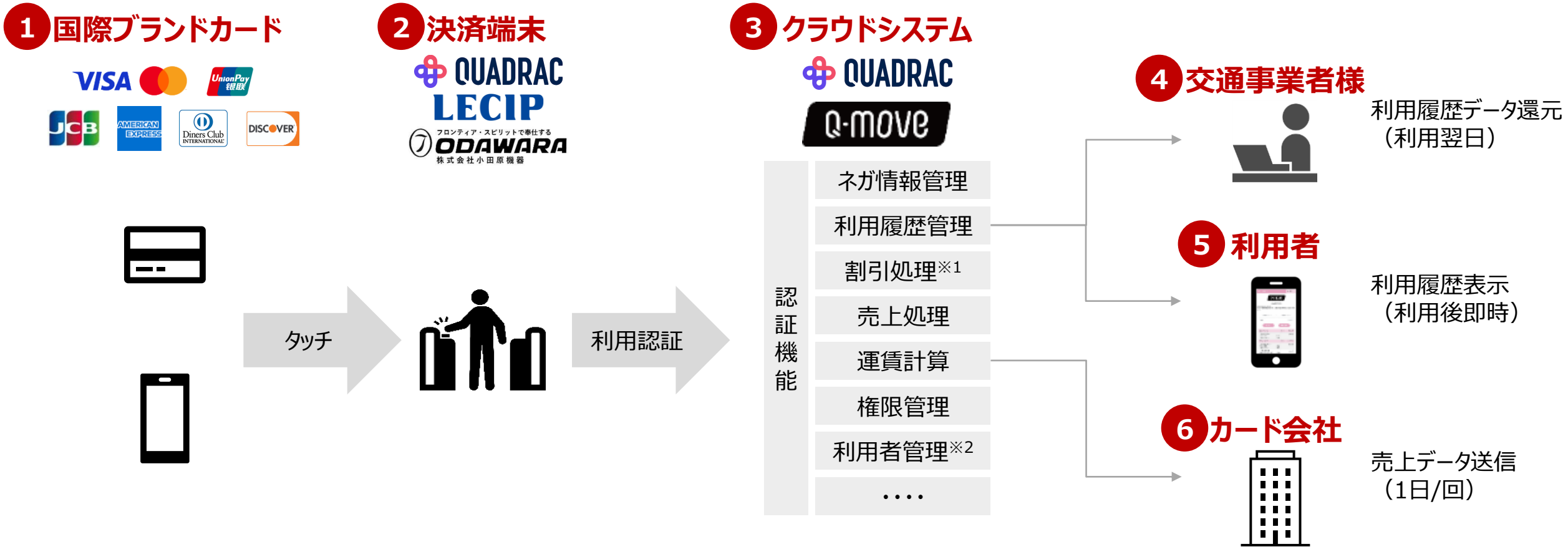
【乗車】



- 乗車可能

2-④. stera transitスキームの概要

stera transitは主要国際ブランドのタッチ決済で交通機関乗車を可能にするスキーム



※1 後払いの特徴をいかした「上限運賃」「時間帯別運賃」等を実施可能

※2 現在開発中の機能で、買物や観光施設と連携した割引等が可能になる機能

2-④. stera transit_①国際ブランドカード

stera transitでは全国国際ブランドで利用可能



ブランド	タッチ決済名称
JCB	JCB コンタクトレス
Amex	American Express®コンタクトレス
Diners	ダイナースクラブ コンタクトレス
DISCOVER	Contactless D-PAS
VISA	VISAのタッチ決済
Master	Mastercard®コンタクトレス
銀聯	銀聯QuickPass

2-④. stera transit_②決済端末

SteraTransitでは、鉄道/軌道/バスそれぞれの運用特性にあわせたインフラをご提供可能

端末ベンダ					
機器名	BF.200	LV.1	LV.700	BOSS	SELF
認証時間	0.25-0.35秒				5秒
用途	主に 鉄道	主に 路線バス/軌道/ワンマン鉄道			主に 高速バス
端末イメージ					

出典：各社HP

2-④. stera transit_③クラウドシステムの機能紹介

後払いであることによる豊富な割引機能

クラウドシステムの特長

後払いであることにより
割引処理が可能

割引機能例

- ✓ 乗車割引
- ✓ 往復割引
- ✓ 乗継割引
- ✓ 利用回数割引
- ✓ 上限金額割引
- ✓ マイナンバーカード連携（開発中）

乗車割引

来年の令和6年8月1日、熊本市電は**開業100周年**を迎えます！



そこで、1年前を記念し、**今年の8月1日(火)**は
タッチ決済で市電運賃が**無料**になります！

※タッチ決済のみ対象、現金・交通系ICカード・QRコード決済等は対象外



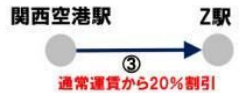
乗継割引

◆福岡から大阪の場合

福岡市地下鉄



南海電鉄



◆大阪から福岡の場合

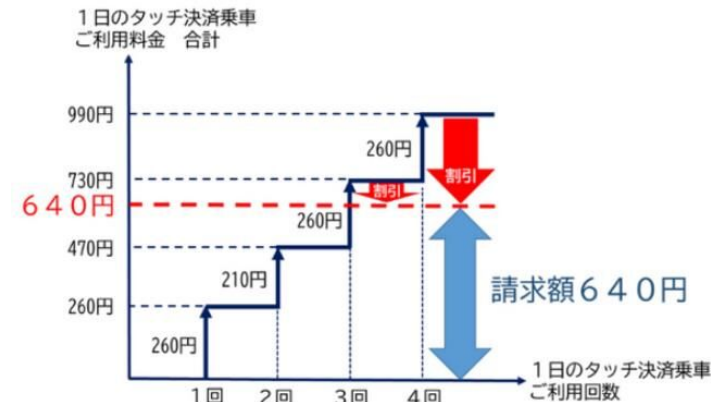
福岡市地下鉄



南海電鉄



上限割引



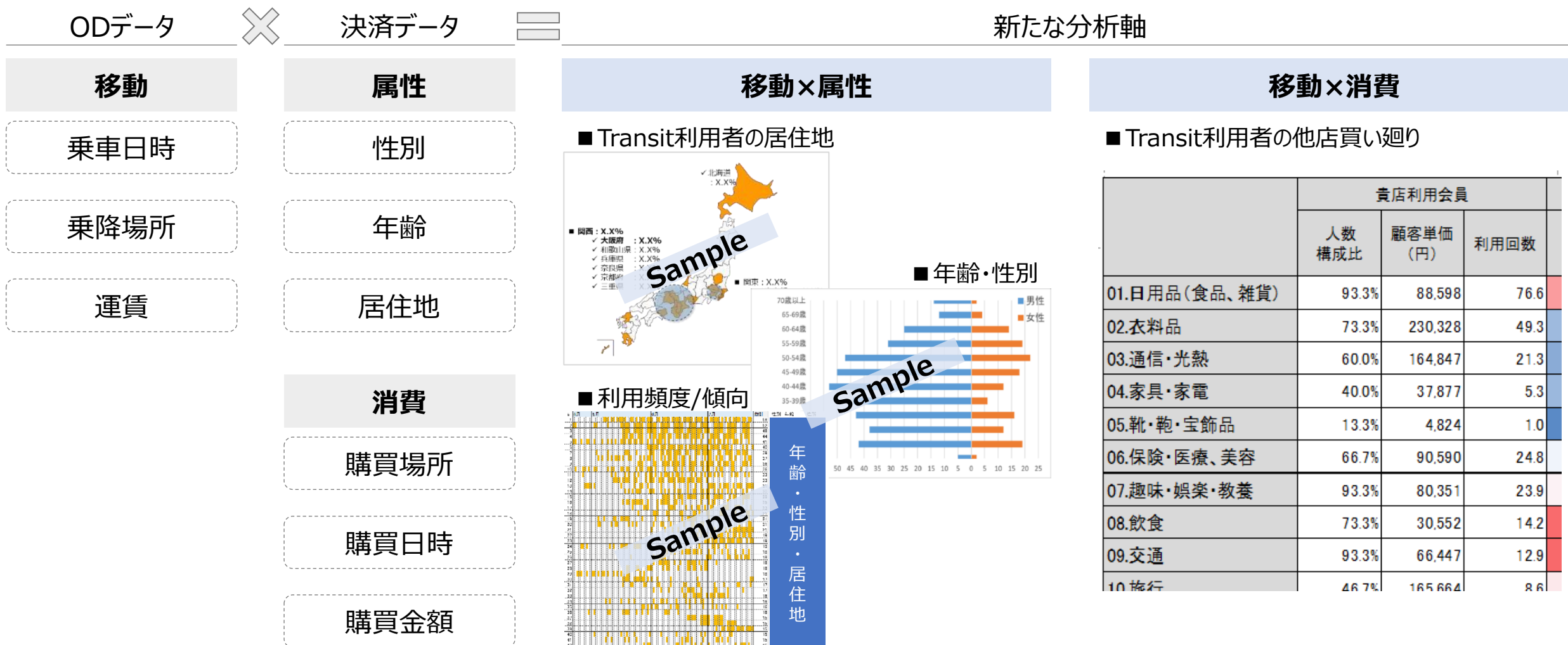
鹿児島市バスでもタッチ決済OK！

市バス・市電とも
タッチ決済 乗車で
上限月額 9,660円 (税込)
2024.3.1スタート！

カードでも！
スマホでも！
このマークが
目印じゃって

2-④. stera transit_④交通事業者へのデータ還元

ODデータに決済データを紐づけることで、「移動」に「属性」や「消費傾向」を掛け合わせた分析が可能



2-④. stera transit_⑤利用者向け告知

利用者への認知拡大を目的とした告知を実施

漫画タッチを活用した広告



あなたのスマホやカードでタッチするだけ!



インバウンド向けの多言語



あなたのスマホやカードでタッチするだけ!



メリット訴求



2-④. stera transit_⑤JCBにおける利用者向け施策

利用促進を目的にキャッシュバックキャンペーンを実施

告知イメージ

SCOOP! JCB Program

JCBのタッチ決済で運賃を支払うと

カードでも! スマホでも!

対象の公共交通機関運賃

50% キャッシュバック! 上限500円相当

キャンペーン期間 2024年4月26日(金)～5月26日(日)

JCB タッチで簡単

対象路線・対象駅・対象のカード発行会社等の詳細は「JCBブランドキャンペーン」で検索! 一宮から「JCBのタッチ決済で公共交通機関に乗りよう! 50%キャッシュバックキャンペーン」をチェック!

JCB タッチで簡単

対象の公共交通機関 運賃支払いで

30% キャッシュバック 上限500円相当

カードも対象

タッチ決済 対応マーク

キャンペーン期間 2025年1月16日(木)～3月16日(日)

対象路線・対象駅・対象のカード発行会社等の詳細は、キャンペーンページをご確認ください。詳しくはこちら▶

SCOOP! JCB Program

MORE JAPAN with JCB Enjoy!

50% cashback

JCB Touch and Go!

1, July, 2025 - 30, June, 2026

The maximum amount of cashback is 1,000 yen per cardmember per cumulative period.

The cumulative period of purchases eligible for cashback are every two months. *Some JCB Contactless cards may not be eligible for promotion.

このキャンペーンは海外でご利用ください。日本国内での利用は対象外です。 This campaign is valid for JCB cards issued outside of Japan. Read this code for more details

期間

2024年4月26日～
2024年5月26日

2025年1月16日～
2025年3月16日

2025年7月1日～
2026年6月30日(予定)

対象会員

国内会員

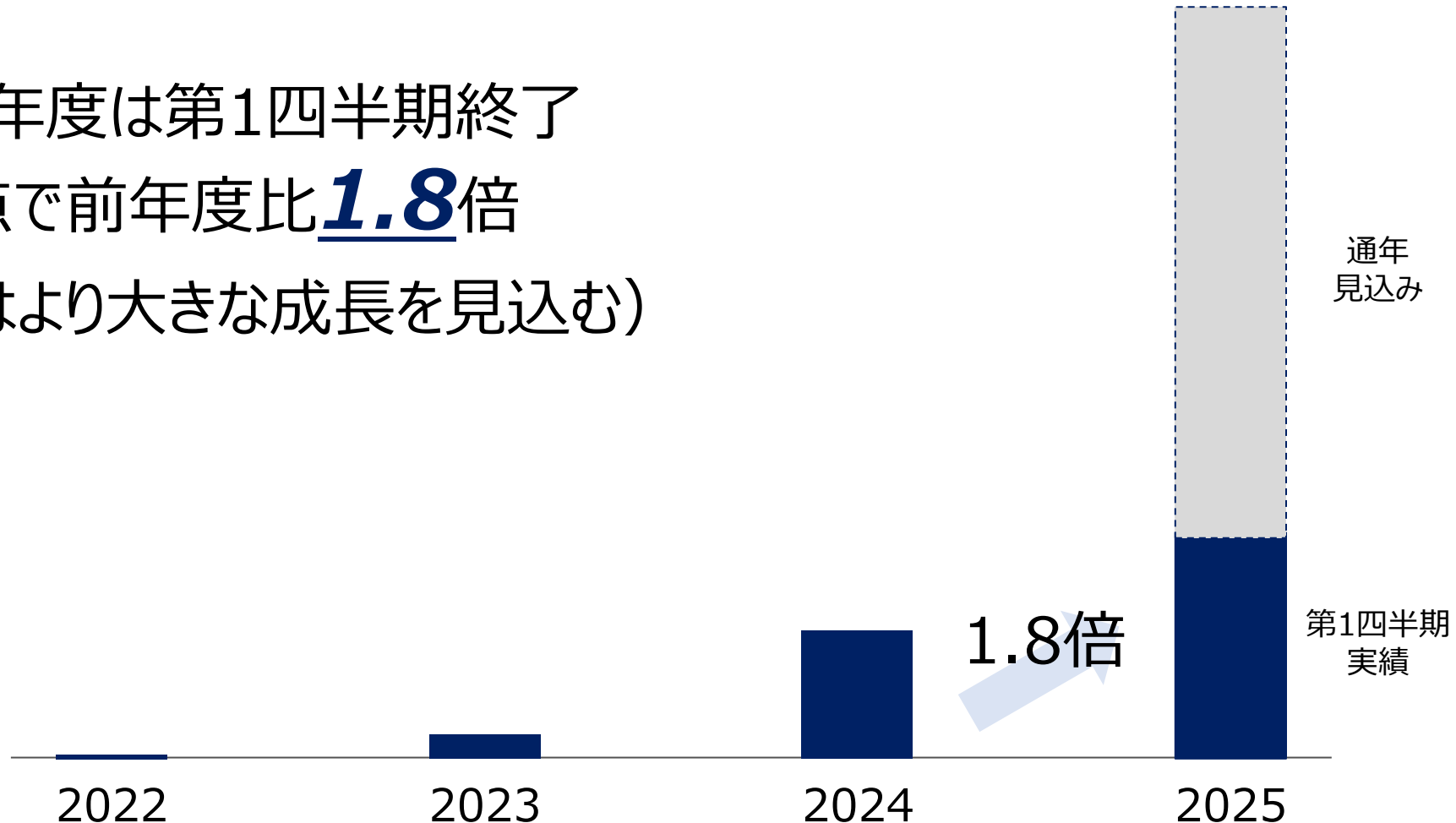
国内会員、海外会員

海外会員

2-④. stera transit_⑥JCBにおけるTransitの利用状況

利用促進施策効果もあり、利用件数は伸長

2025年度は第1四半期終了
時点で前年度比**1.8**倍
(通年ではより大きな成長を見込む)



2-⑤. Transit導入のメリット

Transitの導入により、交通事業者様の抱える一部課題の解決に寄与する可能性がある

係員負荷軽減



システム
構築費用削減



Transit



キャッシュレス化
促進



オープンデータ
活用



2-⑤. Transit導入のメリット_係員負荷軽減

インバウンド客数増加による窓口負担をグローバルスタンダードな決済方法であるTransitが解決

交通機関が抱える問題例

Transit導入

得られるメリット

✓ **インバウンド需要増加**

✓ 乗車方法がわからず
窓口への問い合わせ増



✓ タッチするだけの簡単な乗降



✓ 係員への問い合わせ減少



2-⑤. Transit導入のメリット_システム更新費用削減

比較的安価なシステム運用費による経営効率向上の可能性がある

交通機関が抱える問題例

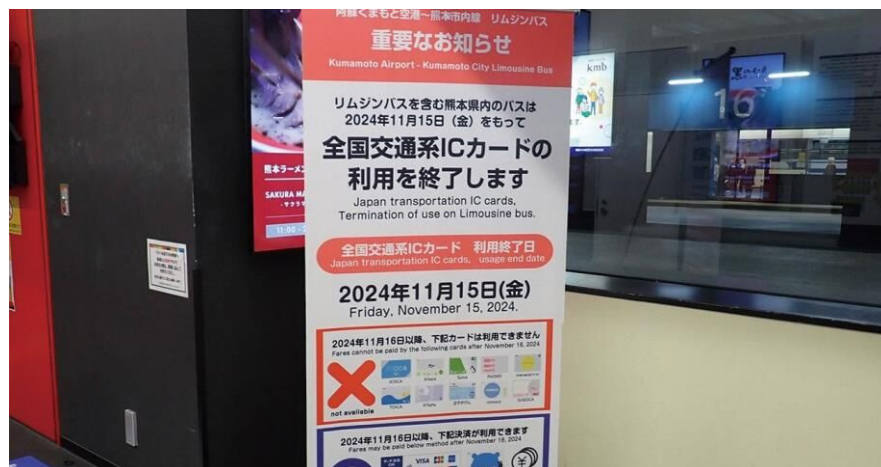
Transit導入

得られるメリット

✓ 高コストな
システム更新費用

✓ 交通系ICと比較し安価な更新費用

✓ コスト削減による
経営効率向上



←熊本県ではシステム更新費用
を理由に交通系ICを廃止



出典：週刊ダイヤモンド「熊本県の鉄道・バス5社が「交通系ICカード廃止」で乗客大混乱も、全国の自治体が注目する理由」

2-⑤. Transit導入のメリット_キャッシュレス化促進

新規にICカードを発行する必要がなく、キャッシュレス化促進に寄与する可能性がある

交通機関が抱える問題例

Transit導入

得られるメリット

- ✓ 半導体不足による
新規ICカードの製造停滞
- ✓ キャッシュレス化促進に暗雲



- ✓ 利用者自身が保有するカード決済
- ✓ ICチップ枯渇の影響を受けにくい



- ✓ キャッシュレス化促進に寄与



2-⑤. Transit導入のメリット_オープンデータ活用

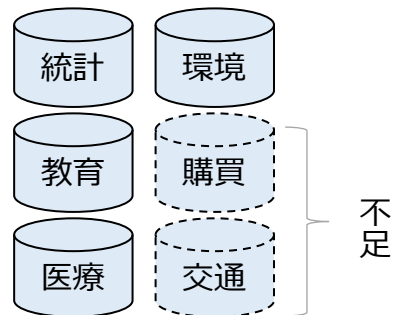
カード会社のODデータ・購買データ提供によりオープンデータ活用の実現に寄与できる可能性がある

交通機関が抱える問題例

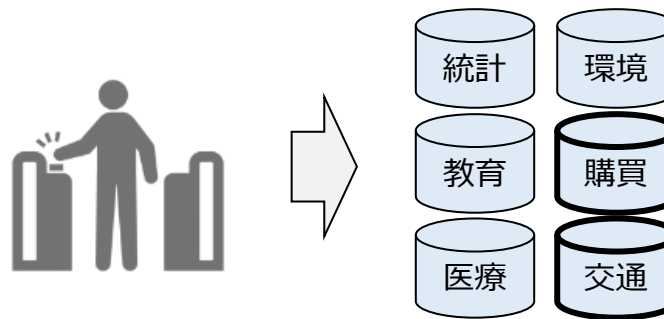
Transit導入

得られるメリット

- ✓ 地方自治体で
オープンデータ活用を企図
- ✓ インプットデータを収集する
も一部データが不足



- ✓ ODデータ・購買データの提供



- ✓ オープンデータ活用の実現に寄与



2-⑥. Transitの導入スケジュール例

一般的に、導入決定からサービスインまでおよそ3ヵ月程度期間を要する

N-3月				N-2月				N-1月				N月(サービスイン)			
1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週

■ 初回折衝
(本MTG)

■ 進捗確認①

■ 進捗確認②

■ サービスイン判断 ★サービスイン

全体イベント

契約

加盟申込書/確認書
提示～合意

契約手続き

支払い等の各種手続き
※固定資産登録等

テスト

※機器ベンダにて作成

テスト実施方法等の協議

テスト準備

テスト実施
結果確認

運用構築

※機器ベンダにて作成

旅客約款/係員マニュアルの修正

係員教育

告知
(プレスリリース)

プレスリリース内容
すり合わせ

■ プレスリリース発信

告知
(プロモーション)

プロモ提案

発注

プロモーション内容
すり合わせ

制作/納品

■ プロモ開始

2-⑥. Transit決済導入に必要な費用例

導入時に機器導入費用、導入後に機器保守やクラウド利用料、加盟店手数料等のランニング費用が発生

#	支払い種別	項目	契約先	契約（典型例）	条件
1	イニシャル	機器導入費	機器ベンダ様	機器受注契約	機器ベンダ様よりお見積り （主にシステム設定＋機器購入）
2	ランニング	機器保守費	機器ベンダ様	機器保守契約	機器ベンダ様よりお見積り （一般に月額固定）
3		通信費	機器ベンダ様	機器保守契約	機器ベンダ様よりお見積り （一般に月額固定）
4		Q-move クラウド利用料	QUADRAC様	Q-move クラウド利用契約	QUADRAC様より提示 （一般に売上従量＋月額固定）
5		加盟店手数料	カード会社	加盟店契約	各カード会社より提示 （一般に売上従量）

➡活用可能な補助金を次ページで説明

※事業者様独自要件に伴うシステム開発費用発生時は別途ご請求となります

2-⑥. 政策動向_Transitに関する補助金



世界にひとつ。あなたにひとつ。

Transit導入に活用可能と想定される国の補助金は下記の通り

25年度の主な補助金

事業名称	主体	予算額	補助率
ICT等を活用した観光地のインバウンド受入環境整備	観光庁	18.6億円	総額の1/2
「交通空白」の解消等に向けた地域交通リ・デザイン	国交省	209.1億円の一部	総額の1/3
DX・GXによる省力化・経営改善支援	国交省	209.1億円の一部	総額の1/3
全国の観光地・観光産業における観光DX推進事業	国交省	12.3億円	総額の1/2 (上限あり)

※出所：国交省HP

完全キャッシュレスバス実証事業

完全キャッシュレスバスの実証運行について

国土交通省
令和6年8月30日

- バス運転者が1万人不足（日バス協推計）するなどの深刻な運転者不足や9割近くが赤字事業者であること等を背景に、路線の減便や事業者の廃業も生じるなど、バスネットワークは危機的な状況にあり、国民の生活基盤に深刻な影響を与えている。これらを解消するため、バス事業者の経営改善や供給力改善を図ることが必要。
- このため、大きな経営改善効果や運転者の負担軽減が見込まれる完全キャッシュレスバスを進めることが効果的。
- バス業界では、これまでの事業者による積極的な投資によって極めて高いキャッシュレス環境が整備されており、完全キャッシュレスの環境は整いつつあるが、丁寧に進める観点から、まずは実証運行を進め、課題や効果を検証する。

完全CLによる経済的な効果（試算）

主要なバス事業者において完全CLが全て実現した場合の経営改善効果

約86.3億円/年

➡ 省力化、経営改善に寄与

※データは、運賃箱購入費、現金輸送手数料、人件費等の現金を取り扱うことによるコストについて、バス事業者10社に対するサンプル調査をもとに、全体を推定したもの。

主要なバス事業者におけるキャッシュレスの現況

キャッシュレスの導入割合92.3% 決済比率88.4%

導入割合

キャッシュレス導入割合 92.3%

決済比率

キャッシュレス決済比率 88.4%

※データは2022年3月末時点。
※「導入割合」は、日本バス協会加盟事業者のうち車両保有台数30両以上の事業者に対する調査で、回答のあった211者の回答結果をまとめたもの。「決済比率」は同調査で、回答のあった183者の回答結果をまとめたもの。

対象路線

以下のような基準で18事業者29路線を選定。

- ①利用者が限定的な路線（空港・大学・企業輸送路線など）
- ②外国人や観光客の利用が多い観光路線
- ③様々な利用者がいる生活路線で、CL決済比率が高い路線
- ④自動運転など他の社会実験を同時に行う路線

今後のスケジュール

2024年 11月1日～ 順次、実証運行の開始

2025年 3月頃 効果検証結果のとりまとめ

※今般の実証運行の結果も踏まえ、今後、必要に応じ他の路線においても実証運行を検討

- 24年度は18事業者29路線で実証運行を実施
- 25年度も実証事業の公募がある想定

3. QR決済



世界にひとつ。あなたにひとつ。

主にバス業態においてQR決済を導入する事例が存在

QRコード（一例）



Smart Code



熊本市交通局

新たなQRコード決済が登場！

Introducing a new QR code payment. You can pay the fare by scanning the QR code displayed inside the train.



ご利用可能ブランド 運賃支払専用QRコードは2種類あり、下の緑の枠と赤の枠のブランドで読み取るQRコードが異なります。



茨城交通

QRコード決済

下記QRコード決済サービスがご利用いただけます
PayPay／楽天ペイ／d払い／メルペイ／auPAY
WeChatPay／Alipay+／SmartCode™

でバスに乗ろう!!



※出所：各社HP

3. QR決済_対応端末

QR決済が可能な端末は以下の通り

端末ベンダ

LECIP

機器名

LV.1

端末
イメージ



フロンティア・スピリットで奉仕する
ODAWARA
株式会社小田原機器

BOSS



出典：各社HP

3. QR決済の導入スケジュール例

一般的に、導入決定からサービスインまで一般的に3ヵ月程度期間を要する

N-3月				N-2月				N-1月				N月(サービスイン)			
1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週

全体イベント

■ 初回折衝
(本MTG)

■ 進捗確認①

■ 進捗確認②

■ サービスイン判断 ★サービスイン

契約

契約手続き

支払い等の各種手続き
※固定資産登録等

テスト

※機器ベンダにて作成

テスト実施方法等の協議

テスト準備

テスト実施
結果確認

運用構築

※機器ベンダにて作成

旅客約款/係員マニュアルの修正

係員教育

告知
(プレスリリース)

プレスリリース内容
すり合わせ

■ プレスリリース発信

告知
(プロモーション)

プロモ提案

発注

プロモーション内容
すり合わせ

制作/納品

■ プロモ開始

3. QR決済_導入に必要な費用例

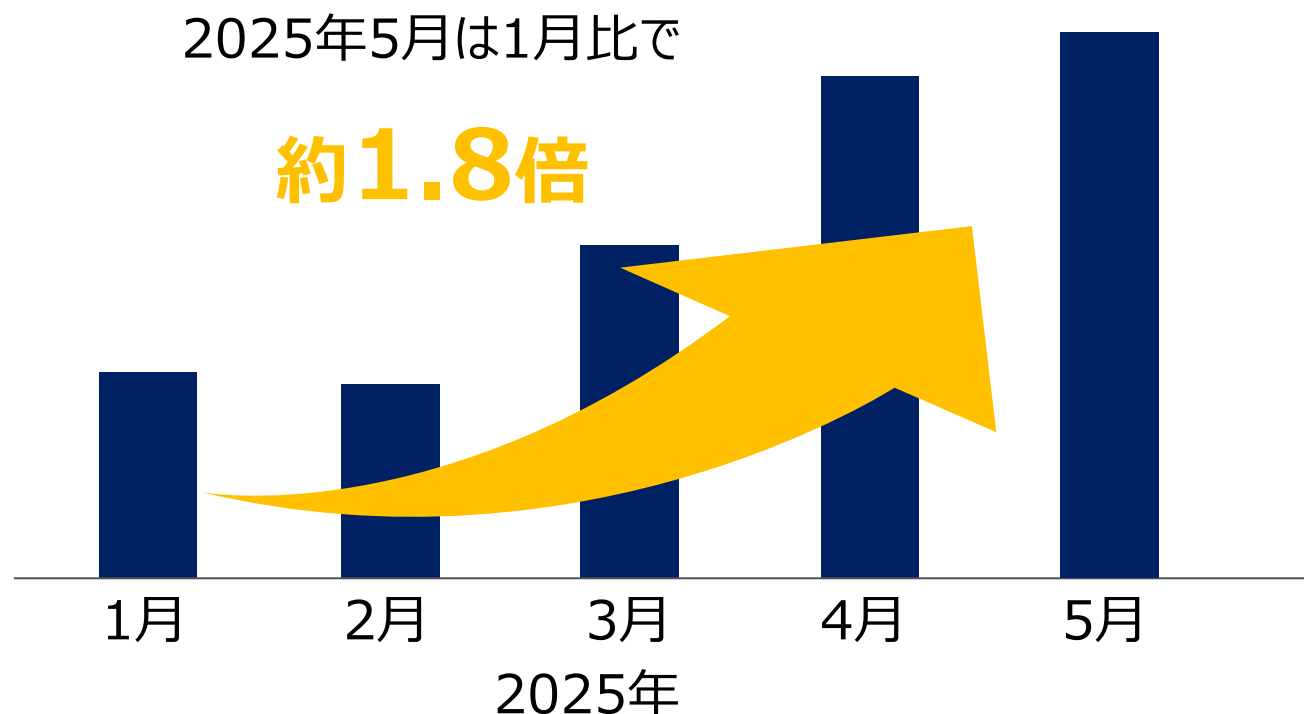
Transitと同時に導入であれば、追加発生する費用は加盟店手数料のみ

#	支払い種別	項目	契約先	契約（典型例）	条件	
1	イニシャル	機器導入費	機器ベンダ様	機器受注契約	機器ベンダ様よりお見積り (主にシステム設定 + 機器購入)	
2	ランニング	機器保守費	機器ベンダ様	機器保守契約	機器ベンダ様よりお見積り (一般に月額固定)	Transitと 共通の費用
3		通信費	機器ベンダ様	機器保守契約	機器ベンダ様よりお見積り (一般に月額固定)	
4		Q-move クラウド利用料	QUADRAC様	Q-move クラウド利用契約	QUADRAC様より提示 (一般に売上従量 + 月額固定)	
5		加盟店手数料	カード会社	加盟店契約	カード会社より提示 (一般に売上従量)	QRコード 決済で追加 発生する費用

※Transitと同タイミングでの導入を前提としております。

3. QR決済_JCBにおける利用状況

クレジット未保有層などでQRニーズもみられ、利用は堅調に推移



事業者様の見解

- ✓ クレジットカード未保有の未成年層における、雨の日の通学利用時などのニーズが存在



株式会社ジェーシービー
加盟店営業統括部

担当：藤井 宏明

電話：080-3386-7320

（平日10:00AM-5:00PM 土日祝休）

ご清聴ありがとうございました